

機械器具 (18) 血圧検査又は脈波検査用器具  
管理医療機器 手動式電子血圧計 (16174000)  
**Microlife 半自動血圧計 N1 Basic**

**【禁忌・禁止】**

「併用医療機器」

1. MRI (磁気共鳴映像法) 装置等と併用しないこと。
2. 可燃性麻酔ガス及び高圧酸素治療装置と併用しないこと

**【形状・構造及び原理等】**

## 1. 構成

本品は、以下により構成される。

- ・ 本体 (チューブ 2 本が接着されている)
- ・ 腕帯
- ・ 送気球



## 2. 電気的定格

電源: 3V 単 4 形乾電池 2 個

電撃に対する保護の形式による分類: 内部電源機器

電撃に対する保護の程度による装着部の分類: BF 型

水の有害な侵入に対する保護の程度による分類: IP20

## 3. 本体の寸法及び重量

寸法: 115mm×59mm×30mm

重量: 106g

## 4. 作動原理

1. 本品に接続しているチューブを送気球と腕帯に接続して電源スイッチを入れると、表示のチェック、排気、電源電圧チェック、零点調整などの動作準備を行う。
2. 送気球による腕帯への加圧が始まると、エア系に接続された圧力センサーの静電容量が変化する。圧力センサーの容量変化を基にオシロメトリック法回路で周波数変換を行い、これを CPU に入力し、CPU がプログラムを実行する。
3. 加圧終了後、排気をコントロールしながらエア系の圧力振動と出現間隔を読み取り、オシロメトリック法に基づき演算処理を行い、最高血圧、最低血圧、脈拍数を表示する。

**【使用目的又は効果】**

健康管理のために収縮期血圧及び拡張期血圧を非観血的に測定すること。腕帯は手動で加圧する。

**【使用方法等】**

## 使用方法

## 1. 使用前の準備

- 1) 本体及び送気球、腕帯がそろっていることを確認する。
- 2) 本体に接着しているチューブ 2 本に腕帯のチューブと送気球のチューブをそれぞれ接続する。
- 3) 本体に電池が装填されていること及び電池容量を確認する。

## 2. 基本操作

- 1) 腕帯のチューブが内側になるように、肘から 2 cm 上にきつくなり過ぎないように巻き付ける。
- 2) 電源スイッチを押す。
- 3) ディスプレイに全項目が表示され、“0”表示に切り替わり、送気球を手動で圧縮して腕帯を加圧する。
- 4) ▲マークが点滅している間は加圧を続ける。予想収縮期より 40mmHg 高い圧力を送る。

- 5) ▲マークが消え、♥マークが表示されたら加圧を中止する。
- 6) 腕帯圧が徐々に減圧されて測定が開始される。
- 7) 測定が完了すると最高・最低血圧、脈拍数が表示される。(加圧不足、血圧振動を十分に検出できなかった場合にはエラー表示をする)
- 8) 腕帯を腕から外して電源スイッチを切る。
- 9) 本体の電源を切った後に M ボタンを押すと直前の測定結果が表示され、押すごとに古い結果に遡って表示される。

**【使用上の注意】**

## 使用方法

- 1) 測定直前の運動、食事、喫煙は避ける。
- 2) 背もたれのある椅子に座り 5 分ほど安静にする。
- 3) 常に同じ腕で測定すること。
- 4) 素肌もしくは薄い肌着などで測定をすること。
- 5) 常に専用の上腕周径にあった腕帯を使用すること。

**【保管方法及び有効期間等】**

## 1. 保管方法

長期間使用しない場合は、本体から電池を取り外す。水濡れに注意し、多湿、高温低温、衝撃、落下、埃を避けて、直射日光が当たらない場所に保管する。

## 2. 使用期間

本体: 5年、または10,000回測定の短いほう  
付属品: 2年

**【保守・点検に係る事項】**

- (1) 本体は柔らかく乾いた布で清拭する。  
(石油、シンナー、ベンジン等は使用しない)
- (2) 腕帯の汚れは、濡れた布又は石鹸水で軽くふき取る。  
(絶対に洗濯機や食器洗浄機で洗濯しない)

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

## 製造販売業者

株式会社ニューロシューティカルズ  
東京都文京区本郷三丁目24番6号  
TEL: 03-3818-6622

## 製造業者

オンボエレクトロニック(シェンツェン)カンパニーリミテッド  
Onbo Electronic (Shenzhen) CO. Ltd. 中華人民共和国

取扱説明書を必ずご参照下さい